

令和 7 年第 2 回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 6 月 12 日（13 日・16 日）

No.	質問者	質問項目（答 弁 者）
1	田上 元一	1. 道路に関する諸課題について（総務部長、建設部長、教育委員会事務局長） <u>一問一答方式</u> 日常生活に欠かせない道路は制度も含めて整備や維持管理、利活用について時代とともに変化しています。市民の関心も高い道路について昨今の状況を踏まえ市としての対応についてお伺いします。 質問 1 国道 248 号線 4 車線化の進捗状況は。 質問 2 主要地方道土岐可児線南消防署交差点改良の予定は。 質問 3 県道御嵩犬山線あけぼの橋交差点改良の予定は。 質問 4 生活道路の法定速度 30km/h の対象となる市道はあるか。 質問 5 この制度改正に伴う市の対応は。 質問 6 歩車分離信号の対象となる交差点はあるか。 質問 7 この制度改正に伴う市の対応は。 質問 8 自転車を活かしたまちづくりに関する市の考えは。 質問 9 自転車道路整備の計画はあるか。 質問 10 木曽三川サイクルツーリズムへの対応は。 質問 11 自転車用ヘルメット着用状況は。 質問 12 小中学校、高等学校での指導、啓発の状況は。 質問 13 市民への指導、啓発は。 質問 14 自転車ヘルメット購入補助制度導入の考えは。 質問 15 自転車購入補助制度導入の考えは。
2	松尾 和樹 （白い会派）	1. 本市の少子化対策における実効性と今後の展望（市政企画部長、こども健康部長（場合により子育て支援課長）） <u>一括答弁方式</u> 本市における少子化の現状と課題を踏まえ、今後のまちづくりに大きく関わる若年層の流出、出生率の低下、結婚支援の位置づけ、市民ニーズの把握方法について、課題解決に向けた視点から問う。 質問 1 若年層の転出超過、特に美濃加茂市をはじめとした近隣市町村への転出の傾向について、どのように分析されているのか。 質問 2 合計特殊出生率が国・県を下回る現状について、その要因分析と計画・施策への活用方法を問う。 質問 3 市としての結婚支援施策の位置づけ、必要性の認識、今後の展開について問う。 質問 4 子育て世代のニーズの正確な把握に向け、調査票の配布方法の見直しや回答率向上の取組みを進める考えはあるか。

No.	質問者	質問項目（答 弁 者）
3	渡辺 仁美 (可児未来)	<u>1. これからの事業承継支援について問う（経済交流部長）</u> <u>一問一答方式</u> 日本企業の 99.7%が中小企業である中、その経営者の平均年齢が 60.4 歳に達している。事業承継への取組みを商工団体等と連携し、雇用や経営資産を守り進めることを求める。 質問 1 事業承継に関する本市の状況は。 質問 2 事業承継に関する自治体としての支援の方針 質問 3 事業承継支援の今後の展開 <u>2. 夏休み子ども食堂への支援について問う（こども健康部長（場合により子育て支援課長））</u> <u>一問一答方式</u> 学校が夏季休業の間、子どもには居場所が必要となる。それには地域の大人がいる地域の場所が望ましく、子ども食堂は最適の場所だと考える。子ども食堂の活動を充実させるために市が支援することは可能か。 質問 1 学校以外の居場所について、市で調査した結果は。 質問 2 子どもたちの居場所に対する本市の方針と今後の展開は。 質問 3 子ども食堂の長期休暇期間中の活動を支援することは可能か。
4	田口 豊和 (可児未来)	<u>1. 身体障がいのあるお子さんの保育について（こども健康部長（場合により保育課長））</u> <u>一括答弁方式</u> 身体障がいを持つお子さんのいる家庭の保育について、市内の保育施設の受け入れ体制はどのようになっているか。その保育ニーズに応えるための市の取組みと考えを問う。 質問 1 障がい児の保育受け入れ体制はどうなっているのか現状を伺う。 質問 2 保護者支援と相談体制は十分整っているのか現状と本市の見解を伺う。 質問 3 障がい児を受け入れる保育施設側への補助金について伺う。 質問 4 身体障がい児の保育の必要性和受入体制の強化について今後どのように進めていくのか伺う。

No.	質問者	質問項目（答 弁 者）
5	川上 文浩 (可児未来)	<u>1. 名鉄広見線（新可児―御嵩駅間）存廃問題について（市長、建設部長）</u> <u>一括答弁方式</u> 名鉄広見線（新可児―御嵩駅間）存廃問題についてこの6月に「みなし上下分離方式で、鉄道を維持する」か「鉄道を廃線し、バス路線に転換する」かの選択を沿線3市町の合意により決定するとなっている。その現状は。 質問1 名鉄広見線（新可児―御嵩駅間）存廃問題について、可児市民からの意向をどのように調査し、どのような結果となったか。 質問2 御嵩町の存続表明で協議に影響が出ると思うが、どのように考えるか。 質問3 存続する場合の沿線自治体の負担はどのようになるのか。 質問4 存続する場合の沿線自治体の負担軽減策の可能性は。 質問5 県立高校の通学手段の利便性向上は県が中心に考えるべきではないのか。 質問6 名鉄広見線（新可児―犬山駅間）の今後について。
6	富田 牧子 (日本共産党 可児市議団)	<u>1. ジェンダーギャップの解消を（市政企画部長、市民文化部長）</u> <u>一問一答方式</u> 女性活躍推進法による男女賃金格差の情報開示が、2023年度から地方自治体でも義務づけられました。本市における男女賃金格差・昇進プロセスの男女格差について、聞きます。 質問1 本市における男性職員、女性職員の平均賃金はどれほどでしょうか。（2023年度、2024年度） 質問2 本年は、課長以上の女性の割合、係長以上の女性の割合は何%でしょうか。 質問3 本市の女性管理職はこれまで、あらゆる分野に配置されていたでしょうか。 質問4 今後の女性課長や部長の配置について、どのように考えていますか。 質問5 審議会の女性委員が増えないのは、どうしてでしょうか。 質問6 今後どのように女性委員を増やしていきますか。 <u>2. トイレに生理用品を（市民文化部長、教育委員会事務局長）</u> <u>一問一答方式</u> コロナ禍で様々な理由から生理用品を購入・入手できない「生理の貧困」が顕在化しました。しかし「生理の貧困」に係る地方公共団体の取り組みも進んでいます。本市でも、トイレに生理用品の設置を。 質問1 小中学校の女子トイレ内に生理用品を設置してください。 市役所や公共施設の女子トイレ内に生理用品を設置してください。

No.	質問者	質問項目（答 弁 者）
7	天羽 良明 (可児未来)	<u>1. 公共施設のD X化に向けた進捗状況と今後の展望は（市政企画部長）</u> <u>一括答弁方式</u> 本市の公共施設D X化に向けた進捗状況は。 学校開放や体育施設、マーノ、地区センターの予約方法は、どう変わるか。D X化で利用者の利便性と事務の効率化を図ることができるか。 質問1 本市の公共施設予約システムのDX化の現状と今後の計画は。 質問2 スマートキーを利用できる施設の追加拡大の考えは。
8	伊藤 健二 (日本共産党 可児市議団)	<u>1. コメ問題-減反から増産へ政策転換を（経済交流部長）</u> <u>一括答弁方式</u> 米価高騰と店に売るコメがないという「無策」農政の転換が必要だ。食用米の生産量不足が原因であり、減反・減産政策から増産に転換すべきだ。政府が需給と価格安定に責任をもち、市の減反勧奨は見直しを求める。 質問1 本市に「可児市農業再生協議会」なるものがあるが、根拠法と役割は？ 質問2 農業は時給10円～100円という低賃金だ。食料・農業・農村基本法（平成17年）をうけて、本市でどのように食料の安定供給は具体化されてきたか？ 質問3 毎年「減反・生産調整の勧め」が行われてきた。罰則はないものの、現に耕作水田の約53%まで作付面積を減らす協力要請するもので、社会状況に全く逆行している。見直しの方向は如何か？ <u>2. 全ての国保加入者に資格確認書の交付を（福祉部長）</u> <u>一括答弁方式</u> 高齢者・障がい者等の要配慮者に対し、マイナ保険証の有無によらず、国は後期高齢者には資格確認書を職権で交付するとした。マイナ保険証の利用率は低く、国保証の期限切れに伴う混乱は回避するよう対策をとれ。 質問1 可児市での資格確認書の取扱いに変わりはないか。 質問2 マイナ保険証の登録解除申請をする以外に資格確認書を得る方法はないか。 質問3 高齢者等への配慮措置を拡大し、前期高齢者の加入者等にも職権交付を。

No.	質問者	質問項目 (答 弁 者)
9	山田 喜弘 (可児市議会 公明党)	<u>1. 防災力向上について (総務部長)</u> <u>一括答弁方式</u> 消防団向け防災アプリの導入で負担軽減を図ってはどうか。また、現在の女性消防団の活動内容はどうか。L G B T Q、認知症、要介護4及び5に認定された人などの避難所における対応について本市の見解を伺う。 質問1 消防団向けアプリの導入など消防団の負担軽減を図ってはどうか。 質問2 女性消防団の広報及び救命講習の活動内容は。 質問3 LGBTQの方への対応は。 質問4 要介護4及び5、また、認知症の方への避難所対応は。 質問5 県補助金を活用して福祉避難所等の環境改善の取り組みを行ってはどうか。 質問6 災害用配慮者支援用バンダナを指定避難所に設置してはどうか。 <u>2. 住まいのエンディングノートについて (建設部長)</u> <u>一括答弁方式</u> 令和6年度調査により本市の空き家は1, 183件で年々増加している。本市の空き家の現状と対策について伺う。また、住まいの仕舞い方に資する可児市版「住まいのエンディングノート」を作成し活用してはどうか。 質問1 空き家の現状と対策について。 質問2 可児市版「住まいのエンディングノート」を作成し活用してはどうか。
10	野呂 和久 (可児市議会 公明党)	<u>1. 動物 (犬・猫) 愛護の対策について (市民文化部長)</u> <u>一問一答方式</u> 犬猫等販売業者に対してマイクロチップ装着が令和4年6月から義務化された。本市の犬の登録件数中の装着率や市民からの問合せなど3年間の状況等を問う。また地域猫、所有者不明猫への本市の取り組みも併せて問う 質問1 飼い犬のマイクロチップ装着件数と比率は。装着に関する市民の問合せは。 質問2 狂犬病予防法の特例制度参加について。 質問3 マイクロチップ装着費用の補助事業について。 質問4 さくらねこ無料不妊手術事業等の利用状況とえさ代など費用補助について。

No.	質問者	質問項目（答 弁 者）
11	高木 将延 (会派きずな)	1. 持続可能な自治会運営のサポートを（市民文化部長） <u>一括答弁方式</u> 長年、加入率の低下が課題となっている自治会だが、コロナ禍以降、持続可能な自治会を考えなければならない時期に来ている。全国的にも問題となっているこの課題に対し、本市は自治会へのサポートをどう考えるのか。 質問1 自治会活動推進交付金制度について。 質問2 単位自治会への情報提供について。 質問3 広報紙のデジタル化について。 質問4 自治会 DX に向けたサポートについて。 質問5 自治会の事務局機能強化について。 質問6 委員の推薦依頼見直しについて。 質問7 持続可能な自治会運営のサポートについて。
12	前川 一平 (会派きずな)	1. 可児市の市民意見の反映に対する取り組みについて（市政企画部長） <u>一問一答方式</u> 市民の声を正確に政策に反映するため、アンケート調査の実施方法や、パブリックコメント制度の参加促進のための配慮や工夫、AI 技術による意見集約の活用方針について伺います。 質問1 アンケート調査における内容設計と回答率向上策について。 質問2 パブリックコメント制度の周知と参加促進の工夫について。 質問3 パブリックコメント制度の若年層等への配慮や今後の方針について。 質問4 AI を活用したブロードリスニングによる民意集約の可能性について。

この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。